**2016年12月７日改訂版**

**日本介護福祉士養成施設協会近畿ブロック会**

**第１回　介護創造力コンテスト～介護過程の展開～**

**開催要綱**

**１．開催趣旨**

　このコンテストは、近畿ブロックの介護福祉士養成校で学ぶ学生が、介護を「創造」する力、とりわけ介護過程のアセスメント力・計画作成力・プレゼンテーション力を競うコンテストです。

このコンテストは以下の３つの目的をもっています。

(1)社会に対して、介護福祉士養成校の存在意義を発信する。「コンテスト」という形で、介護福祉士養成校の教育レベル、学生レベルの高さを社会に発信する。

(2)コンテストを通して、学校を超えて教員同士が切磋琢磨し、教育力を向上させる。また、教育内容・方法の標準化を推進する。これにより介護福祉士養成校教育全体の質の向上を図る。

(3)コンテストを通して、学生の学習全般に対するモチベーションを上げ、介護を「創造」する力、とりわけ介護過程のアセスメント力・計画作成力・プレゼンテーション力の向上を図る。

　近畿ブロックを先駆けとして、全国レベルで展開することを目指しています。

**２．開催日時**

　平成２９年１月８日（日）　競技者　　　10:00～17:45（9:30集合）

　　　　　　　　　　　　　　一般参加者　15:00～17:45

　　　　　　　　　　（※前日の１月７日（土）は近畿ブロック教員研修会です）

**３．場所**

　神戸女子大学ポートアイランドキャンパス

　　　（ポートライナー　みなとじま駅から西へ徒歩約５分）

　　　　　　　　　　（※前日の近畿ブロック教員研修会とは別会場となります）

**４．主催**

　日本介護福祉士養成施設協会近畿ブロック会

「介護創造力コンテスト～介護過程の展開～」実行委員会

　 　事務局　南海福祉専門学校　ＴＥＬ072-262-1094　ＦＡＸ072-261-7886

　　 　　（担当　野村　脩（実行委員長））

**５．競技者**

　日本介護福祉士養成施設近畿ブロックの所属校の学生（訓練生を含む）

　１校あたり１チーム（１課程あたりではありません）

　　１チーム４名　（３名以下も認めます。学年、年齢は自由です）

**６．競技参加費**

　無料

**７．賞品**

　優勝校には賞品を贈呈します。

**８．一般参加者**

　多数歓迎します。養成校教員、学生、保護者、施設職員、高等学校教員、マスコミ等、誰でも参加できます。参加費無料。上位３チームのプレゼンテーションを観戦していただきます。競技への参加はできません。

**９．全体スケジュール**

9:30　　　　　　集合（予選参加者）

10:00～12:30　　予選（動画視聴約10分間含む）

12:30～15:00　　休憩（決勝準備）　・　予選審査

15:00　 　　　　開会式

結果発表（上位３チームが決勝戦へ進出）

　　　　　　　　　　　　→上位３チームは別室にて決勝の準備

15:30　 　　　　一般参加者に対して課題の公開・説明（全体会場）

上位３チームの解答用紙を事前配布

16:00 　　　　 決勝（全体会場）

プレゼンテーション（介護観をふまえての説明）

１チーム15分間

17:00　 　　　　講評　・　結果発表　・　表彰

17:45　　 　　　閉会

**10．競技方法**

【予選】

・1チームずつ部屋に分かれて、課題（事例）に取り組みます。

・事例の情報（紙面と動画）から、「各学校の介護過程の様式」にて情報を整理し、「共通の解答用紙」にてニーズ／生活課題を抽出し、優先順位をつけた上で、具体的計画を立案します。

・ニーズ／生活課題の抽出、優先順位、具体的計画の立案にはその根拠・理由も問われます。

・紙面情報はデータでも提供されます。動画データ、「共通の解答用紙」のデータとともに会場設置のノートパソコン（１台）のデスクトップに入っています。

・「共通の解答用紙」はエクセル形式にて入力します。

・審査の対象は「共通の解答用紙」のみです。「共通の解答用紙」のみ提出していただきます。「各学校の介護過程の様式」の提出は不要です（審査いたしません）。

・複数の審査員にて、ニーズ／生活課題、具体的計画、優先順位とその根拠・理由の内容を審査します。特に根拠・理由の内容が重視されます。

・上位３チームが決勝に進出できます。

・上位３チームの「共通の解答用紙」は即時印刷され、会場の一般参加者に配布されます。

《予選の留意事項》

・運営の関係上、予選の解答時間が動画視聴（約10分間）を含んで2時間30分と非常に短時間ですので、通常学校で行っているように「各学校の介護過程の様式」にゆっくり記入していてはおそらく時間が不足します。チームで役割を分担するなど時間の短縮を工夫してください。また、介護「過程」としては変則的、高度な対応になりますが、通常学校で行っている作業を、思考上のみで高速で行い、多少作業を割愛する必要があるかもしれません。

【決勝】

・決勝は、自チームの「共通の解答用紙」の内容を15分間でプレゼンテーションします。その際、自らの介護観をふまえた説明となるようにします。

・予選と決勝の間の2時間30分で、上位３チーム（に入ると想定するチーム）は休憩および決勝のプレゼンテーションの準備をします。

・プレゼンテーションは口頭のみでもパワーポイントを使用してもかまいません。解答用紙は印刷して、プレゼンテーション時には会場に配布されています。

・プレゼンテーションの順番は予選段階の順位で決まります。３位のチームが１番目、２位のチームが２番目、１位のチームが最後です。

・決勝の審査は、予選と基本的に同じ複数の審査員でプレゼンテーションの内容（論旨および表現力）を審査します。

・予選の点数に決勝の点数を加算して、総合点で優勝、準優勝、３位が決まります。

**11．競技参加者の当日持ち物**

・各養成校で使用している介護過程の情報整理の用紙（各校様式）の持参してください。

・筆記用具を持参してください。

・情報検索および入力を目的としたスマートフォン、タブレット、ノートパソコン等の使用も可能ですので、必要ならば持参してください。

**12．競技参加校**

|  |  |
| --- | --- |
| 1 | 南海福祉専門学校 |
| 2 | 神戸女子大学 |
| 3 | 大阪城南女子短期大学 |
| 4 | 神戸医療福祉大学 |
| 5 | 姫路福祉保育専門学校 |
| 6 | 神戸リハビリテーション福祉専門学校 |
| 7 | 和歌山ＹＭＣＡ国際福祉専門学校 |
| 8 | 大阪人間科学大学 |
| 9 | 京都女子大学 |
| 10 | 福井県医療福祉専門学校 |
| 11 | 大阪教育福祉専門学校 |

（順不同）

計11校

**13．一般参加者の申し込み方法**

・養成校教員、学生、保護者、施設職員、高等学校教員、マスコミ等、誰でも参加できます。上位３チームのプレゼンテーションを観戦していただきます。

・当日参加も可能ですが、参加人数の把握のため、できるだけ下記の締め切り日までに申し込んでください。

・下記申込み先までメールにて申し込んでください。その際、①氏名（ふりがなも）、②性別、③所属を明記してください。

養成校教員以外の場合は、④住所、⑤電話番号も明記してください。

**◎一般参加者の申し込み締め切り　　2016年12月19日（月）まで**

**14．申込み・お問い合わせ先**

南海福祉専門学校　野村　脩（おさむ）

メールアドレス　amenimomakezu@leto.eonet.ne.jp

住所　　　592-0005　大阪府高石市千代田6-12-53

電話番号　072-262-1094　　ＦＡＸ　072-261-7886

以上